



プレイ人数	プレイ時間	対象年齢
2~8人	10分~	6歳~



内容物



お題カード 全30枚

しりとりのお題が書かれたカードです。
30枚中2枚は「ブランクカード」になってます。
プレイヤーの皆さん的好きなお題を書いてみてください。

「シバリトリ」とってどんなゲーム？

シバリトリはしりとりを題材にしたゲームです。
カードには「7文字以上」「白いもの」「歴史上の人物」など様々なお題が書かれています。
書かれたお題にまつわることばをしりとりでつなげることで、
手札を捨てるることができます。最初に手札をなくしたプレイヤーの勝利となります。



ゲームの流れ

1. 準備

お題カードをよくシャッフルし、各プレイヤーに配ります。

配られたカードは手札になります。

(配る枚数はプレイ人数によって違うので、下の表を見て配ってください)

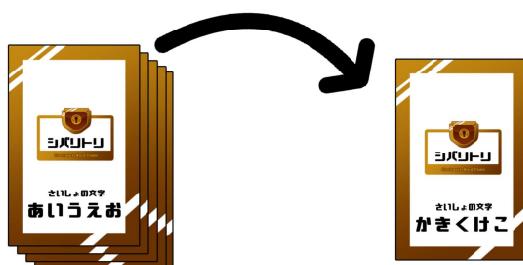
※ブランクカードに何も書いてない場合は、シャッフルするカードに入れないのでください

プレイ人数	配る枚数
2人	各5枚
3-5人	各4枚
6-8人	各3枚

誰にも配られなかったカードはゲーム内では使用しませんが、裏面は使います。

2. ゲームの開始

- ・じゃんけんなどの任意の方法で最初のプレイヤーを決めます(=スタートプレイヤー)。
- ・スタートプレイヤーは、誰にも配られなかったカードの中から好きな1枚を選んで、そのカードの裏面に書かれた「さいしょの文字」の中からしりとりをスタートします。



出たカードの「さいしょの文字」である
か・き・く・け・こ
の中の好きな文字からしりとりを
スタートします。

裏面の状態でカードを
1枚を選んで

3. ゲームの流れ

①手札のお題カードの中から1枚選んで、そのお題にまつわることばを「しりとりでつなげる」ことで手札を場に捨てることができます。

プレイヤーAの手札



場



次のプレイヤーは
「す」から始まる
ことばでしりとりをします
(次のプレイヤーは左どなり)

②次のプレイヤーは場に出されたお題にまつわることばは「シバられて」もう言えなくなります。

プレイヤーBの手札



場

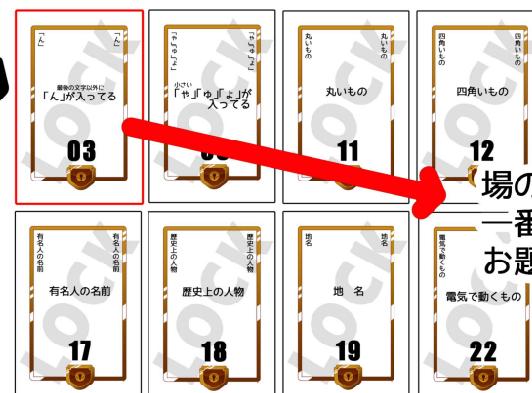


場にはもう「黒いもの」が出ているため、
もう言えなくなり、さらに新しいお題カード
「丸いもの」が出されたため、次のプレイヤーからは
「黒いもの」と「丸いもの」が言えなくなります。

③①～②をくりかえし、一番始めに手札を全部場に捨てられたプレイヤーの勝利となります。

4. 場のルール

場に置かれるカードの枚数(=シバラれるお題の最大数)は最大8つ(2-3人プレイ時は6つ)までです。
最大枚数の時に新しくカードが置かれた場合は、
元々場に置かれていたカードを1枚ゲームから除外します。
除外するカードは「お題カードに書かれた数が一番小さいカード」です。



場のカードの中で
一番小さい「03」の
お題カードを除外

5. 思いつかなかったら

手札の中でしりとりをつなげられないと思ったら、
場に出てるお題カードの中から好きな1枚を選んで、手札の1枚と交換することができます。
交換した後、次のプレイヤーに手番が移動します。(これをパスと言います)

全プレイヤーがパスをしたまま手番が1周した場合、

好きなお題カードを1枚除外し、ゲーム開始時と同じ方法で最初の言葉を改めて決定して、
ゲームを再開します。

6. シリトリのルール

- 濁点、半濁音外したり、変えて次のことばへつなげます(「ぶ」を「ふ」「ぷ」に変えてつなげられます)
- 促音は大きくして次のことばをつなげます(「ょ」は大きい「よ」にしてつなげます)
- 長音は母音に変えて次のことばへつなげます(「ター」の場合は母音の「あ」にしてつなげます)
- 固有名詞は使うことができます。文章もOKです。
- お題カードを出す場合、多少無理があっても皆が納得すればOKです。